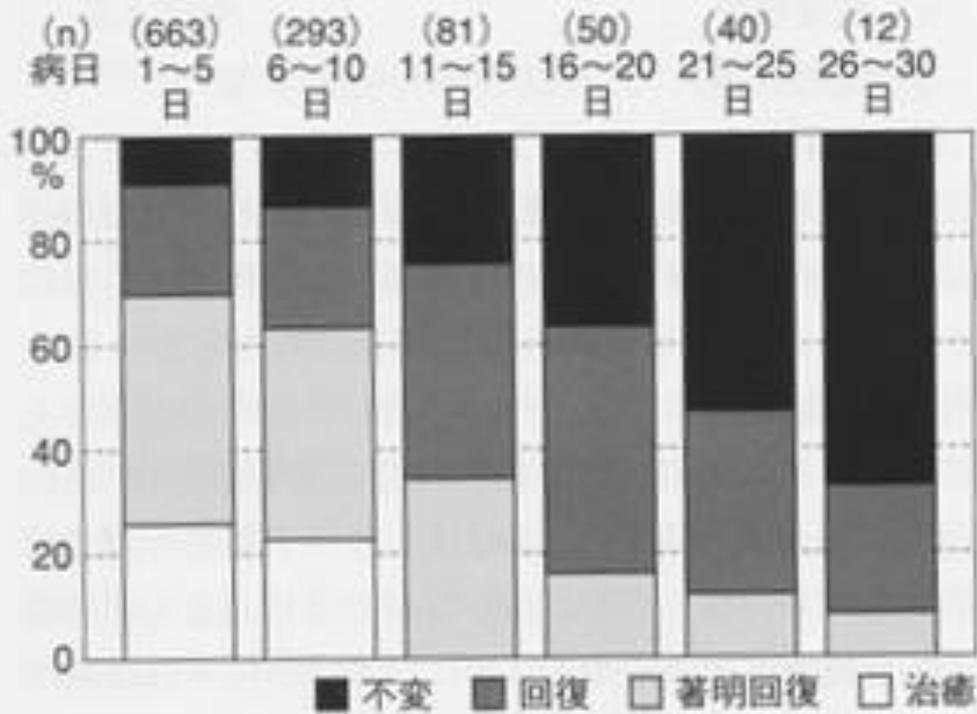


グラフの横軸は発症時の聴力、縦軸は治療後の固定聴力  
 発症時の難聴の程度は治療効果に影響を与える  
 発症時の聴力が 80dB 以下であれば治療後の聴力は 30dB 以下となることが期待できる  
 発症時の聴力が 90dB 以上では 30dB 以下となることは少ない。



グラフは横軸が発症から受診までの期間、縦軸は聴力改善が治癒・著明回復・回復・不変それぞれの患者さんの比率。

治療の開始時期は予後に影響する。

治療開始が発症後1週間以内であれば治療成績は良好。

著しい聴力改善がみられるのは、発症後ほぼ1~2週間以内に限られる。

発症後2週間を過ぎると聴力はほぼ固定されると言われる。

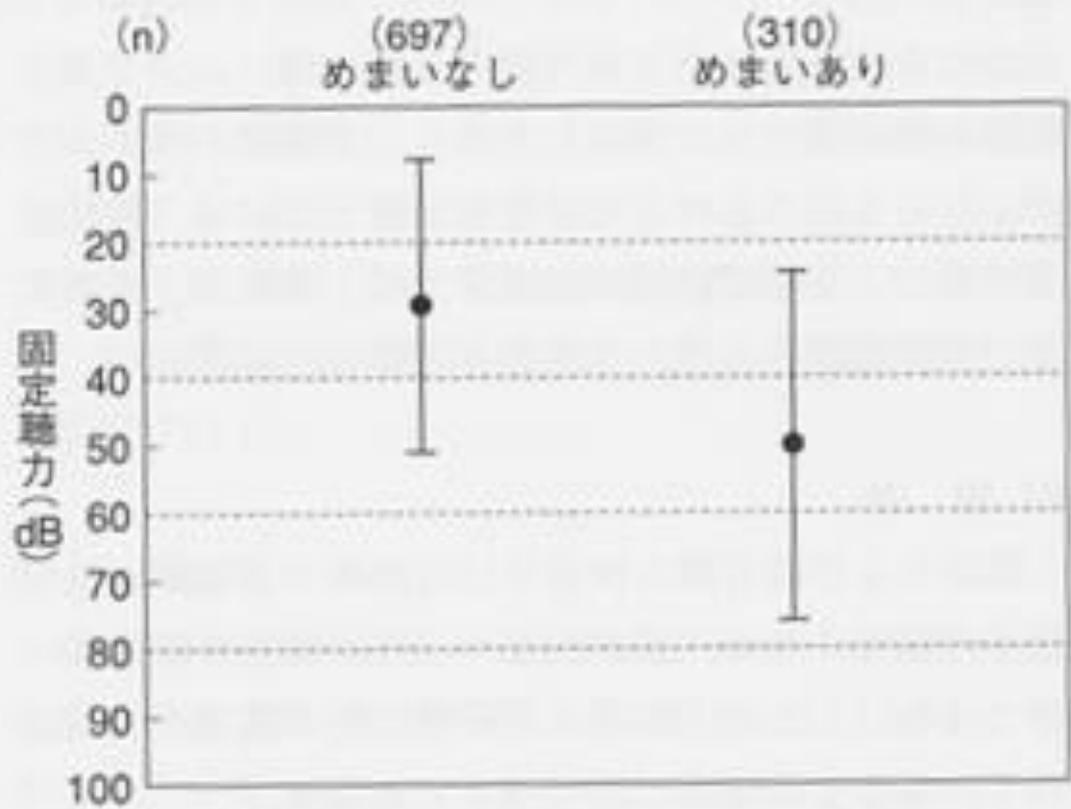


図 8-44 自覚的めまいの有無による固定聴力  
(新田, 他: Otol Jpn<sup>®</sup>)

めまいありなしによる治療後の固定聴力の比較。  
めまいを伴う症例では予後が悪いとされる。